サンプラ通信

発行：2026 年 6 月　33 号

シュリンクフィルム・チューブ加工品

材質別特徴一覧

■ シュリンクフィルム・チューブ加工に使用される代表的な 4 つのプラスチック

材質（PVC、PS、PET、PO）のメリット・デメリットをまとめたものです。

近年は入手困難な PO チューブシュリンクから代替材質についてのご相談を多く頂いております。

文字だけだと少々比較しづらい部分もありますので、それぞれの特徴がひと目でわかるように表として整理しました。ご参考にしてください。

材質	長所（メリット）	短所（デメリット）
PVC (塩化ビニル)	**・透明度が良い** **・低温で収縮できる** ・成形、加工特性に優れている ・コシがある ・難燃性、電気絶縁性に優れている	・自然収縮をおこしやすい ・空間シールが破れやすい ・帯電しやすい
PS (ポリスチレン)	・透明度が良い ・水蒸気透過率が良い	**・衝撃に弱い** ・耐薬品性（有機溶剤）が悪く、軟化・溶解する
PET (ポリエチレンテレフタレート)	・透明度が良い ・耐薬品性が良い **・強度が強い** ・寸法安定性に優れている	・加工が難しい **・収縮温度が高い**
PO (ポリオレフィン)	**・収縮率が高い** ・突刺、引裂強度が強い ・低温で収縮できる	・開封性が悪い **・製造会社が少ない（入手困難）**

■ 材質選びにお困りの場合は、サンプラスチックへご相談下さい

サンプラスチックは各種材質の販売実績がございます。
材質によっては加工性の得意・不得意もございます。
包装物に合わせた材質・加工形状をご提案させて頂きます。

ちぢ〇くんのご紹介





ちぢ〇くんは、500ml 用ペットボトルお絵かき
ラベルシュリンクです。

豊富なカラーバリエーション
・色：透明、白、青、ピンク、緑、黄、オレンジ

・近年の販売例
① 工場見学やイベントでの体験コンテンツ
② 学校教材やワークショップ
③ 企業ノベルティ
④ 社内研修やインターン研修教材
⑤ ブラインドテスト　などです。

・ 手書きで作る方法（お湯を使用）
フィルムに直接イラストを描いて、お湯で縮ませる方法です。

・用意するもの
ちぢ〇くん®（フィルム）
ペットボトル（水を満タンに入れるか、未開封のもの）
油性マジック、電気ポット（または深めの鍋）、タオル

・作り方

お湯を沸かす： ポットや鍋で 80℃以上のお湯を用意する。
絵を描く： フィルムに油性マジックで好きな絵を描く。
セットする： ボトルのラベルを剥がし、描いたフィルムを被せる（底から 1.5cm ほどはみ出させるのがコツ）
お湯に沈める： フィルムを手で押さえながら、お湯へゆっくり完全に沈める（一気に縮みます）
※危険なので大人が行ってください。
仕上げ： お湯から取り出し、タオルで水滴を拭き取れば完成！

・作製ご紹介



一般のご家庭でも作製可能です。お客様に様々な発想でご使用を頂いております。

プラスチックに+TICを。
サンプラスチック株式会社

←HP ご紹介はこちらから

お問い合わせ先

栃木オフィス
TEL:0287-36-3200
FAX:0287-36-1112